

町づくりの 考えは？

ここが聞きたい



交通事故対策は最重要課題だ

引き続き事故死ゼロをめざす



酒向弘康 議員

問 安全安心のまちづくり
に交通安全施策は、緊急かつ
重要課題。以下を問う。
(1) 昨年の町内の交通事故
死はゼロだったが、事故
件数は増加傾向である。
事故低減施策は。
(2) 岡崎警察署が、リスト
アップした事故多発交差
点の深溝天王前・三ヶ根
駅前などの対策は。
(3) 高齢者への啓発運動と
通学路、歩道の見直しは。

(4) 「交通ヒヤリ地図」の
作成と町内に「事故件数
表示板」の設置の考えは。
(5) 住民を巻き込んだ「マ
ナー意識」の向上策は。

総務部長 (1) 住民と一体
となって、未然防止活動
や交通安全教室を計画し
「事故死ゼロ」をめざす。
建設部長 (2) 事故多発交
差点は、優先的に早期事

業化に向け働きかける。

総務部長 (3) 老人クラブ、
シルバー会員の方々を対
象に実技指導、講習会を
年4回実施している。

教育部長 学校で常に通学
路の点検はこない、随
時見直していく。

総務部長 (4) 各年齢層別
で作成していく。表示板
は、駅前交番で設置が可
能か検討する。

(5) 交通安全週間を中心に、
青色パトカーを活用し、
見える交通安全対策に努
める。



改修が望まれる三ヶ根駅前交差点



伊藤宗次 議員

国保税値下げ、減免制度拡充を

平成21年度以降に減免は考える



親切な窓口対応

問 国保税は、残酷な税Ⅱ
酷保税とも言われる。
低所得者や年金暮らしの
人からも取り立てる。

生きているだけで課税す
る、個人均等割。世帯平等
割は、大幅に引き下げを。
所有しているだけで課税
する資産割は軽減を。

滞納2億円をさらに積み
上げぬために、軽減制度の
拡充とPRを。

蒲都市は、2000人余
の軽減で770万円の国保
税軽減だ。

幸田町は、わずかに8人

で10万円の軽減にすぎない。
軽減制度の拡充と軽減制
度のPRをすべきた。

健康福祉部長 国保は、国
民全員が加入し、与えられ
た条件の中で住民の命と健
康を守っていくものである。

平成19年度の国保会計は、
約5000万円の赤字であ
る。平成21年度には、国保
税の引き上げを考えていく
状況であることから、資産
割の軽減、国保税の引き下
げは考えていない。
滞納は、個別に家庭訪問

や納付計画などで、地道に
減らしていきたい。

減免制度は、申請主義の
ため、周知を図り利用者を
増していく。また、平成21
年度以降で、減免制度の拡
充は考えていきたい。

**地デジ視聴は
無料が大前提だ**

問 テレビ電波に障害を発
生させた新幹線と中電鉄塔
障害対策で、共聴施設と
組合をつくったが、三河湾
ネットワーク(株)が権利取得
し、今日にいたっている。

地デジ放送が流れていな
がら、共聴地域は有料(月
735円)でしか視聴させ
ないことは、総務省見解に
反する。無料視聴が大前提
だ。

新幹線共聴5組合と三河
湾ネットが協定を結び、町
長が立合人として、署名捺
印した協定書は、「地上ア
ナログ放送終了までに、地
デジ放送を無料で保証す
る」としている。

**無料は非常に
むずかしい**

総務部長 平成23年7月の
デジタル放送以降も、新幹
線共聴は協定により無料で
ある。

中電共聴は、中電の補償
終了のため有料となる。

三河湾ネットワーク(株)は、
有料であるが、加入は強制
ではなく個人の選択である。

ネットワーク(株)との関係
は、幸田町だけの問題では
ないため、話し合いは引き
続き進めていくが、無料に
ついては非常にむずかしい。

5年先の町の人口は

4万人を超す見込みに



大嶽 弘 議員

問 地方の活性化・自立化のためには、人口増加策は必要と考える。

反面、急激な増加は、財政、環境など負の側面も発生する。

- (1) 本町の将来展望は、何万人を想定しているか。
- (2) 農地転換に対する配慮は。
- (3) 今後の企業誘致の考えは。
- (4) 人口4万人規模での自立は無理なのか。

総務部長 (1) 平成27年度人口4万人、将来人口5万人を展望しているが、4万人はみえてきた。

(2) 土地利用計画に基づき市街化区域の外まわり部分に、優良農地を確保し自然との調和を図っている。

(3) 多くの分野で優良企業を誘致し、産業空間の創

設を推進する。

- (4) コンパクトシティとして、環境や防災に配慮し新たなインフラ整備を抑えたまちづくりを進める。
- 町長** 4万人だからといって行政的な違いはない。

更なる
窓口対応の
向上を

問 昨年4月に役場の組織が再編された。

- (1) 住民目線での窓口サービスのあり方は、常に見直す必要がある。
- (2) グループ制移行の自己評価は。
- (3) 都市公園の維持管理の一元化は。
- (4) 中央公民館などの利用申込み手続きの合理的な見直しは。

住民サービスを
進めていく

総務部長 (1) 役所事務の垣根を取り払う考え一方でグループ制を採用した。

各課の連携で窓口対応し住民サービスを進めていく。

建設部長 (2) いろいろな補助金で建設したので担当課が分かれ改善も進めてきた。

現時点では、窓口の一体化はできない。

通常の維持管理は都市計画課で対応する。

教育部長 (3) 運用基準は利用日の1カ月前から受け付け、利用日の3日前までに申請し許可をしている。

利用申し込みの開始日を延長することは、今後検討したい。



発展する幸田町



夏目一成 議員

芦谷I.C付近の道路整備を

早期実施に向け協議していく



整備が待たれる芦谷I.C付近

問 国道23号岡崎バイパスが開通し4月で1年になる。この道路が開通し産業界や、地域の方々にさまざまなかたちで、貢献し重要性がうかがえる。

国道248号の安形木交差点が閉鎖され、今までの人、車の出入り口が変わり大きく変化した。芦谷I.C付近と芦谷ちびっこ広場の所から東山までの道路整備と、

旧トライアングルの交差点より、右折左折とも、大型進入禁止にしてほしいが町の考えは。

建設部長 周辺土地利用のためには拡幅改善が、ぜひとも必要な道路と考えている。児童の通学路でもあり、事業計画の優先順位と計画内容を含め、早期実施に向け協議する。

芦谷I.C西交差点の防護柵は、西三河建設事務所に見通しのよいガードパイプにて早期の修繕をお願いしている。

「大型車は通り抜けできません」という看板を立てている。また公安委員会の規制は警察と調整をとりながら進めていく。

幸田駅橋上化と快速の停車回数増を

問 快速を利用すると名古屋まで38分位で到着し、非常に便利で名古屋が近くに感じる所である。

便利な快速電車の、停車回数を増やす働きかけを。

また幸田駅は明治41年9月11日に開業し、今年で満百年となり、節目の年である。この年に、駅の橋上化と駅西の開発を一体でぜひ計画を。町の考えは。

駅西開発は、高級品を扱う今まで幸田にない商業施設を誘致し、人の流れを取り戻してほしい。

駅西の市街化と合わせて進める

総務部長 快速は現在、下り16本、上り18本が停車をしている。利用客数だけでなくダイヤの総合的な判断で定められるため、難しい面もあるが、引き続き要望していく。

町長 東西連絡路を自由通路で結ぶ橋上立体化は、駅西の市街化の進展と合わせて進めていきたい。

総務部長 駅に近いという特性を利用し、商業系の施設や環境を考慮した住宅地も考えていく。

町長 町の玄関である商店街のにぎわいは極めて大事である。

特別支援教育の充実を

指導の成果、課題を把握し検討する



水野千代子 議員

問 児童・生徒の教育行政を問う。

- (1) 普通学級で知的な遅れはないが、行動面などで著しい困難を示す児童・生徒が増えている。支援充実のため、各学校への特別支援教育支援員と心理判定員の配置を。
- (2) 外国の子どもたちが、3小学校、2中学校で合計30人学んでいる。日本語指導教諭の配置と、保護者への通訳や相談窓口の充実を。
- (3) 発達障害児童・生徒の親の会「ハーモニー」の相談窓口の充実と、活動場所の提供を。

教育長 (1) 平成19年度は、

町単独で通級指導員の教師を2名採用し、3校に配置している。年度途中であり、課題を検討する。心理判定員の資格を持

つ教員はいないが、スクールカウンセラーでの相談や専門機関にも依頼している。

- (2) 増加する外国籍の児童・生徒のため、新年度より日本語対応教員を1名配置する。保護者の相談にも応じていく。
- (3) 教育相談室や特別支援教育コーディネーターが相談や助言を行っていく。活動場所は、事業趣旨に沿った申し込みで、中央公民館、地域の公民館などで利用が可能になる。

安全・安心なまちづくり条例を

問 町内の平成19年の空き巣、忍び込み、自動車盗などの犯罪は、449件、不

審者情報は34件発生している。安全・安心なまちづくり条例を制定して、防犯に強いまちに。

災害発生時には、公的支援が来るまで、地域住民が自助、共助の活動が必要である。
県では、19年度より、地域密着型防災リーダーを育成する市町村を支援している。本町が主体となって防災リーダーの育成を。
避難所でのプライバシーを守る間仕切りセットの備蓄を。

要綱で責務を明確にしている

総務部長 平成18年10月に「幸田町安全・安心なまちづくり要綱」を制定し、町、



深溝小学校の授業風景

町民、事業者の責務を明確にしている。十分な機能を

している。
地域防災組織の防災力向上のため、県の制度を利用し、防災リーダー育成の計

画をしていく。

間仕切りセットは、深溝・中央・坂崎小学校に設置しており、順次他の避難所にも配置していく。



杉浦 務 議員

バス下校の拡大を

通学路の変更も含め検討する



新1年生 はじめてのバス下校 (豊坂小学校)

問 国道23号岡崎バイパスの開通で車の通行量が増大し、旧23号および周辺のアークセ道路が大変混雑し、危険である。安全対策を問う。

(1) 通学の安全対策として須美・桐山・上六栗の低学年児童のバス下校を週3回を週5回に拡大できないか。

教育部長 (1) バスの運行ルートやダイヤの変更は、困難である。
1回は全校一斉下校であるため、残る1回を、

(2) 上六栗住民広場前の交差点改良工事および信号機設置の完了は。

(3) 上六栗地内蒲郡碧南線の拡幅工事計画は。

学校のカリキュラムを変更し、バス運行ダイヤに合わせて、バス下校も考えられる。今後、交通安全・防犯の両面で、通学路の変更も含め、検討していく。

建設部長 (2) 改良工事は実施中で、一部が年度をまたぐ繰越工事となる。信号機は、3月末に設置する。

(3) 地元のご理解を得て、県へ、引き続き整備を要請していく。

市町村合併の考えは

問 平成7年の愛知県下の自治体88市町村が、平成の大合併により現在61市町村になっている。

現在合併の検討がされている自治体・単独で市政をめざす自治体もある。

この問題は町民が大変関心をもっている。行政も議会も真剣に取り組む民意を反映し、合併するのか、単独自治体をめざすのか町長の考えを問う。

今、直ちにはない

町長 平成15年、時期尚早として合併を先送りした。その後、各学区懇談会で報告し、第5次総合計画では自立した町へのステップとして、人口4万、5万人をめざしたまちづくりを明確にしている。

人口も、毎年8000人から10000人は伸びており、5万人も遠くはないと考える。

合併は、今直ちにはない。しかし、地方分権社会、道州制を考えた時は、近隣市町と広域連携をするまちづくりは探っていく。

選択は、町民の皆さんと決めていく。

子どもたちにゆき届いた教育を

きめ細かな指導の充実をはかる



丸山千代子 議員

問 幸田町教育委員会は全国学力テストの参加を決めたが、昨年の結果はどうだったのか。

愛知県は、昨年の学力テストの結果を分析するプログラムを独自に開発。

学校や教師ごとに担当する児童・生徒の傾向を把握し、授業の改善に活かすのが目的で学校に配布した。

- これでは、ますます学校の序列化や子ども達の競争の激化につながりかねない。
- (1) 昨年の学力テストの結果、子どもにも与えた影響
 - (2) 学力テストの中止を求め、不参加を。
 - (3) 習熟度別学習ではなく、少人数学級の取り組みを。

教育長

(1) 全体として小・中学校ともに学習内容の理解の定着がはかられており、少人数指導の成果も表れている。児

童・生徒は先生から指導・助言をうけ、学習への意欲が高められた。

- (2) 平成20年度も参加する。教育施策や指導の成果と課題が把握でき、改善に役立てることが期待できる。また数年にわたり参

加することで、より確かな検証と改善が可能と考

- (3) すべて習熟度によるグループ編成をしているのではなく、本人の希望、保護者の理解を得ながら実施している。



生産者の顔がみえる地産地消

地産地消で食の安全を

問 中国の毒入り冷凍餃子事件は、食の安全を脅かしている。

- 加工食品や食品添加物、残留農薬の心配などは、子ども達の発達にも影響するものであり、食料の自給率アップが求められる。
- (1) 学校給食で、輸入食材などの使用実態は。
 - (2) 食の安全は、生産者の顔がみえる農産物が一番である。ネットワークをつくり、計画生産で年間出荷量を確保するなど地産地消の促進を。
 - (3) アレルギー食の取り組みを。

一品でも多く取り入れる

教育部長 (1) 野菜などの輸入農産品は、以前より使用していない。加工品、冷凍食品は使用をやめ、国産品に切り替える。

- 環境経済部長** (2) 関係機関と協議し、地域農産物を給食食材として一品でも多く取り入れ、食育推進計画に盛り込んでいく。
- 健康福祉部長** (3) 必要な設備、調理体制の問題があり、先進地の視察をするなど、今後の研究課題として取り組んでいく。

いっぱん質問 その後

追跡

あの答弁は
どうなったの!



電子黒板で授業

answer

電子黒板は、「わかる授業」
に結びつける有効な手段と
考える。学習指導方法が多
様化しているため、1台の
購入を計画したい。

question

小中学校の、パソコン授業
に、電子黒板の導入を。

平成18年12月定例会
足立嘉之議員

その後
afterward

平成19年度、幸田小学校、
荻谷小学校に導入した。
動画や図の移動等を組み
合わせるにより、教師
は説明しやすく、児童生徒
もわかりやすいと好評。
教室・特別教室・体育館
等で使用している。(2台
分31万円)

question

幸田町の総犯罪発生件数は、
増加傾向であり、特に「車
上狙い」が多く発生してい
る。防犯に効果があるとい
われる「青色防犯灯」の設
置は。

平成19年9月定例会
酒向弘康議員

その後
afterward

全国的に設置が進んでおり、
町でも試験的に設置をし、
その効果をみていきたい。
平成20年3月、桜坂区で
11基設置した。
今後、地域の意見をいた
だき、その結果を踏まえて、
方策を検討していきたい。

answer



防犯効果が期待される

委員会レポート

総務

町民の努力で 死亡事故ゼロ達成

2月22日協議会開催

交通・防犯・防災

Q 平成19年中の死亡事故ゼロは、啓発活動の成果と思う。その認識だけではないのか。

A 学区単位で交通安全総点検を実施し、交通安全指導をしていく。

Q 交通安全の分野で、他の部署との連携はどのようになっているか。

A PTA・教育委員会・

行政・警察と連携している。

Q 犯罪の関係で、自転車盗が幸田学区に集中している。特徴的な問題があるか。

A 細かい把握はしていない。今後、調査したい。

フットドレッシング事業

Q 総事業費1253万円の内、町費220万円をあてているが、カンボジア青年の受け入れ事業は



事故が心配される桐山交差点

産業建設

原油高騰に対する 農家支援

どれだけか。

A 全額交付金で対応するもので、町費は多文化共生事業に使うものです。

Q 外国籍町民会議では、どのような意見があったのか。

A 住みやすいという意見をいただいたが、広報紙が読めないために、行政情報が入りにくいとの意見もあった。



温度管理が大変です

2月21日協議会開催

原油の高騰で、施設園芸農家の経営を圧迫している。平成20年度に限り、原油高騰の幅に応じ燃料費補助を実施する。

○基準価格 平成18年10月から平成19年3月の平均価格

○補填対象 平成20年度中に使用した重油、灯油

○支援額を新年度予算で50万円を計上。

Q 農家の年間使用量は。

A 平成18年度はA重油46万ℓ、灯油3.3万ℓを使用。

Q 50万円の限度額では、1ℓ当り1円相当の補助

であまりにも少ない。補助率の引き上げを。

A 営農意欲を欠いてはならないが、農家を見守る気持ちで支援するもの。

水道ビジョン策定の目的

Q 水道ビジョンとどのようなものか。

A 安全で良質な水道水を将来にわたり安定供給するための基本計画を定める。

Q 水道料金はどのようになるか。

A 計画には水道料金の値上げは予定していない。

文教福祉

保育所入所の
児童数増加

2月14日協議会開催

Q 坂崎18人、わしだ7人、豊坂17人と各保育園の入所児童が増えているが、その要因は。

A 若い世代の定住人口の増加と考える。

Q 里保育園の入所率は低い。

A 延長保育を実施していないことが、要因の一つと考える。今後、乳幼児専門の保育園なども視野に入れ、入所率の向上に努めていく。

**難病患者へ
見舞金が支給される**

患者は、年に1、2回医師の診断書を取り、保健所へ公費負担医療の申請をする。その見舞金として支給される。

Q 対象者の条件と人数は。



喜びの入園式（深溝保育園）

A 町内に1年以上在住し、

県知事から、特定疾患医療給付の受給者票を受けている人。約120人いる。

Q 手続きはどうするのか。

A 受給者票の写しと、申請書を福祉課窓口へ。

Q 見舞金額は。

A 1人年額1万円。

Q 制度の開始は。
A 平成20年4月1日から。

全国コンクールで2年連続
4回目の奨励賞を受賞



議会だより124号が、第22回町村議会広報全国コンクールで、2年連続4回目の奨励賞を受賞しました。町民に親しまれ、愛される広報紙をめざし、新たに子どもたちの「目線」と、「その時議會は」をシリーズで取り組み、住民参加の紙面づくりに努力してまいります。応援をよろしくお願いします。

伊藤宗次議員自治功勞表彰

去る2月6日、全国町村議会議長会から、自治功勞表彰が伊藤宗次議員に贈られました。

この表彰は、議員として27年以上にわたり、議員活動を通じて、地域の振興発展と住民福祉向上に寄与した功績に対して贈られるものです。

伊藤議員は、昭和50年4月に当選され、特別委員長、副議長の要職を歴任されてきました。